

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

若狭町立野木小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	11回(のべ)11日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	124人
授業ボランティア(含:低ボラ)	44人
登下校支援ボランティア	4508人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

具体的活動内容

① 地域に学ぶクラブ活動

ふるさとで活動されている文化・体育活動の名人・達人の方を、公民館の協力を得て、クラブ講師として招聘し、指導いただいた。民踊、歴史、篆刻、太鼓、演劇、環境、ソフトバレー等において、熱心に専門的な知識や技能を教えていただいた。



〈歴史クラブ〉

② 地域の特色を活かした豊かな栽培体験活動

地域の特色である肥沃で豊かな農地を活かし、学校近くの田畑を借りて、お米やさつまいも作りに取り組んだ。また、学校ビニルハウス・農園では、総合的な学習の時間の活動で季節の野菜作りに取り組んだ。お米・野菜作り名人の老人会の方々が、多数指導に当たって下さった。



〈老人会の方々との田植え〉

③ 地域連携事業

野ぎく交流会(三世代交流会)、地域との合同実施の体育開会や敬老会等、児童と地域の方の絆を深める活動を通して、ふるさとのよさを知るとともに、共生する喜びを体感することが出来た。また、挨拶運動では有線放送を利用して地域に広げた。主体的に挨拶する姿勢が身についた。

成果と課題

学校ボランティア、ゲストティーチャーとして多くの方々に来校いただき、活動の活性化を図ることが出来た。特にクラブでは、指導者の方々の熱心な指導により、普段学ぶことの出来ない貴重な活動を体験し、その成果を地域の敬老会や感謝の集いで発表することができた。また、挨拶活動では、児童会が中心となり地域に活動の和を広げたことにより、多くの激励やお褒めの言葉をいただいた。

活動の見直しにおいて、学校ボランティアの方々の意見を活かして改善することの必要性を感じた。また、地域・学校協議会の評価を次年度の学校経営方針作成に役立てていき改善に努めていきたい。